



地球のいのちの営みと調和、融合して
共に生き合うコミュニティづくりの情報を発信する

いのちの森通信

発行 / 公益財団法人いのちの森文化財団 〒380-0888 長野市大字上ヶ屋 2471 番地 2198 TEL 026-239-0010 FAX 026-239-0011
ホームページ <http://inochinomori.or.jp> Eメール zaidan@inochinomori.or.jp

公益財団法人
いのちの森
文化財団



Vol.54

2023. July.
令和5年8月1日発行
編集 千葉彩乃

風の時代を生きるII

宇宙の叡智を地球と人類の目覚めのために
シリーズ6・7の開催意義



塩澤 研一
公益財団法人いのちの森文化財団
代表理事
農地所有適格法人
(株)水輪ナチュラルファーム 代表取締役

2021年の9月よりいのちの森グループでは「宇宙の叡智を地球と人類の目覚めのために」と題する学びの会を5回にわたり開催してきました。
この2023年8月にはシリーズの6回目として「女神性を開く」、10月には「世界の平和と個性の幸せ」と題し多彩な講師陣を迎えて開催予定です。
8月11日から13日に開催される第6回の講師陣は小坂円、松尾みどり、ジャネット・アットウッド、ユール・洋子、高島敏子、上田京子、越久田記子、橋本恵子、酒井知里、川野泰周、forblueお坊さんのバンドの各氏、コーデイナー・進行役として、塩澤みどり、塩澤研一で開催します。講師陣は、いずれも21世紀を開く役割を持つた方々です。第7回の「宇宙の叡智シリーズ」は長年に渡り世界を接見しつづけてきた喜多郎、五島秀一、奥健一郎、町田宗鳳の各氏を講師にこれからの世界の在り方と個性の幸せについてを展望して頂きます。

年前に戻り再認識しなければならぬことも出てくると思えます。私たちが今まで学んできて正しいと思っていた政治、経済、歴史、科学、医療など大半のこの実態がこの3年間で白日の下に晒されています。とは言ってもとりわけ日本に於いては世界の流れをほとんど理解しておらず、真逆のメディアの報道に一喜一憂しているのが現状です。このような世界の流れとかけ離れた日本の現実をしっかりと認識し、真実に目覚めなければ日本の存在すら失われていく危険性があるのではないのでしょうか。

時代を映す歌謡の世界

先日50年前にヒットした歌手西田佐知子さんのアルバムを聴いてみました。「東京ブルース」「アカシアの雨が止むとき」戦前のリバイバルの「裏町人生」。いずれも当時は歌詞に対して批判的に聴いていたわけではなく、それなりに「いい歌だなあ」などと聴いていたものが50年ぶりに聴いてみると「啞然」とするような歌詞内容です。女性はまるで男に縋り付いて生きていくような存在として歌詞が作られています。当然このような歌詞の大半は男性の作詞家によって書かれたものが多いのですが、改めて時代の変遷と意識のズレに何とも言えない不快な気分になってしまいました。私自身は人類史についてそれ程深く学んできたわけではありませんが、かつての世界の様々な文学を読む限り、男性と女性の関係性についてはかなり本質的な展開をされてきたように思います。「源氏物語」をはじめとした日本文学における女性の位置もこれほど卑屈ではなかったかと思えますし、むしろ対等に振舞ってきたようにすら感じています。西洋文学に於いても「風と共に去りぬ」や「ジェーン・エア」「嵐が丘」などもむしろ女性の逞しさやしたたかさなどが描かれていたように思うのです。「裏町人生」などに描かれた女性像は明治維新後の西欧化に伴う大きな女性蔑視の意識操作が意図的になされてきたのではないかとさえ思

えてなりません。勿論それ以前の日本においても「人身売買」や「唐行きさん」に代表されるような人権無視の施策が為政者によって行われてきたことも事実であろうと思えます。
しかしながら明治維新という大きな政治的な変化の中においても必ずしも人権意識に裏打ちされた政策がとられてきたのかはいささか疑問です。これはあくまで私の私見ではありますが明治維新も大きな世界戦略の中にあつて「男社会」の確立を意図したものであつて、決して男女の平等意識を意図したのではないと思えます。したがって女性の参政権は第二次大戦後を待つことによつてしかなく、戦後を待つことによつてしかなく、この変化を柱として文化の方向は3S政策を柱として一方では退廃的な歌謡界が現出してきます。60年代、70年代は大きな政治的なうねりを生じつつも課題を外に求めることによつて個々の内的な進化・深化は成されず現在においては思い出しベラル派としてかろうじて自己肯定するしかなく、本来的な男性性の進化と女性性の深化をなすことはできず、21世紀の幕開けを待つ事になった様に感じています。

先日50年前にヒットした歌手西田佐知子さんのアルバムを聴いてみました。「東京ブルース」「アカシアの雨が止むとき」戦前のリバイバルの「裏町人生」。いずれも当時は歌詞に対して批判的に聴いていたものが50年ぶりに聴いてみると「啞然」とするような歌詞内容です。女性はまるで男に縋り付いて生きていくような存在として歌詞が作られています。当然このような歌詞の大半は男性の作詞家によって書かれたものが多いのですが、改めて時代の変遷と意識のズレに何とも言えない不快な気分になってしまいました。私自身は人類史についてそれ程深く学んできたわけではありませんが、かつての世界の様々な文学を読む限り、男性と女性の関係性についてはかなり本質的な展開をされてきたように思います。「源氏物語」をはじめとした日本文学における女性の位置もこれほど卑屈ではなかったかと思えますし、むしろ対等に振舞ってきたようにすら感じています。西洋文学に於いても「風と共に去りぬ」や「ジェーン・エア」「嵐が丘」などもむしろ女性の逞しさやしたたかさなどが描かれていたように思うのです。「裏町人生」などに描かれた女性像は明治維新後の西欧化に伴う大きな女性蔑視の意識操作が意図的になされてきたのではないかとさえ思

種も同じです」とのことでした。すでに25年以上も前の話ですが、現実には大きくは変わっていないのではないかと思います。
町田氏は最近のFBの投稿では、日本の古代においては男性の役割と女性の役割が見事に棲み分けられ男性が政治を女性が祭祀を司り、女性は男性に霊力を与え加護するという役割があつたと述べています。これは、子供や近親を守る「母性性」にも通じ、言葉を変えれば「女神性」にも通じ、「女神性」ともいえるのではないかと思えます。単なる男と女を超えた「神性」を表わしているのではないかと思えます。21世紀はまさしくこの「女神性」を女性に勿論のこと男性も自らの中にもある女神性に気づき、ともにこの霊性を体現していく時代であることに深く意識を向けていかなければこの多難な時代を超えていくことはできないのではないかと思っています。

第7回の宇宙の叡智シリーズは混沌とした現代社会をいかにように超えていくのかというテーマでの開催です。
歴史を見れば戦争は男性の持つ支配欲と闘争心が直接的な要因であるとしても、その奥にある世界経済を仕切る勢力の存在に目を向けなければいけません。これは、現在はトランスヒューマニズムと言われる世界戦略の中に位置づけられた流れの一端でもあるのでしよう。戦争とはまさしく経済活動の一端でもあるとも言えます。この本質を見極めませんと単なる「博愛主義」に落ち込み世界の流れに飲み込まれてしまいかつて、ウクライナ問題がこのことを表しているのではないのでしょうか。冷静に歴史の真実に目を向け、この本質を見極めるには自らが主体的に物事の流れや動きの背景にあるものを調べ、洞察し、矛盾なく物事が表現伝達されているのかを判断しなければなりません。しかしながら問題を二元対立のレベルで捉えていますとこれまた真実から遊離してしまう恐れもあ

世界の平和は自我意識の止揚から

ります。まさしく自我意識から宇宙意識への深化が求められているのではないのでしょうか。世界平和といった段階で二元対立の世界に誘導されてしまう恐れもあります。それぞれが自分の把握しているレベルでの意見を言い合い、結果、双方が対立構造へと陥つてしまふことがあります。現代社会はまさしくこの二元対立の世界へと誘導されているという危惧すら感じなくなっている社会とも言えるのでしよう。

追伸
本年二月の公益財団法人いのちの森文化財団の理事会に於いて塩澤研一が代表理事に選出されました。塩澤みどりは引き続き理事(副代表理事)として役割を果たします。また、水輪の会の代表としてのいのちの森全体の精神的な支柱としてかわらせて頂きます。

宇宙の叡智シリーズ6 世界が求めている女神性講演会 2023年8月11日〜13日 お問合せ026-239-2630

講師

- 川野泰周氏 臨濟宗建長寺派 臨林香寺 住職 精神科医
- 松尾みどり氏 ベルディー・インターナショナル代表
- 越久田記子氏 おくだ動物病院 獣医師・シンガー 横浜市議員
- 上田京子氏 巫女舞
- forblue 神のお坊さんバンド
- 高島敏子氏 司会
- 塩澤みどり氏 ファシリテーター
- 塩澤研一氏 (公財)いのちの森文化財団代表
- 小坂円氏 ニューアースビルダー スクール代表
- ジャネットアットウッド氏 ニューヨークタイムズ誌 ベストセラー作家 変革リーダー
- Aika-橋本恵子-氏 サウンドセラピスト 歌手・作詞・作曲
- ユール洋子氏 著名人通訳・翻訳・著述家 実践心理講師
- 酒井知里氏 アマミ舞

「ヴィーナスの誕生」
女性の神秘性を描いたポティチエリの神話画
女神ヴィーナスは愛と美と豊穡の象徴
海は「命の誕生」
ホタテ貝は豊穡の象徴
オリーブの木は平和
バラは愛を表現

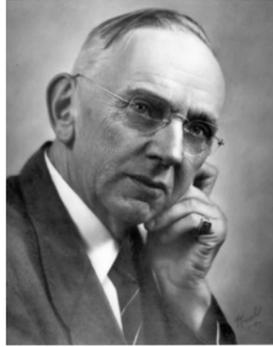
霊的覚醒の種を植える 光田 秀

日本エドガー・ケイシーセンター 会長

2024年GW宇宙の叡智を地球と人類の目醒めのために
シリーズ8に講師としておいで頂きます。



イギリスの高名な歴史学者アーノルド・トインビー(1889-1975)は、過去に栄えた26の文明の栄枯盛衰を研究した結果として、文明が滅ぶ時にはいくつもの共通する前兆があることを見いだしました。そのなかの一つに、「文明が滅びる前に、その前兆として性倫理が乱れる」ことを指摘しました。エドガー・ケイシーは、現代の科学技術を遙かにしのぐアトランティス文明が大西洋に存在し、数万年の栄華を誇ったのちに、この文明が今から1万2千年前に崩壊し、海中に没したことを透視しました。興味深いことに、ケイシーはアトランティス文明もその末期には性倫理が乱れに乱れていたことを指摘しました。



エドガー・ケイシー



エドガー・ケイシー自身が過去生において、ソドムとゴモラの壊滅を目撃したとされます。まことに性は、生命の驚くべき神秘であり、畏敬の念をもって扱われるべきものであります。リーディングは「月経は自然の周期。しかし受胎は神の摂理」と美しく表現しました。性の扱い方を調べれば、その文明文化が神の法則に調和しているか否かが即時に了解されます。では何故に性倫理が乱れるのか。ケイシーはその根本原因を一言で述べています。それは、「人が神を忘れたためである」と。人が、神を忘れ、自己の高貴な霊的本性を忘れたならば、必然的に、唯物思考に向かい、社会は、各自が自分の肉体的快楽を追い求める自己中心的な人間の集団に成り下がってしまいます。さて、先頃、国会で(通称)「LGBT理解増進法」なるものが成立したと知って、私は大いに驚いてしまいました。大いに失望し、落胆しました。性倫理の混乱を容認し、あるいは、促進するかもしれない法律が出来上がったのです。しかも十分な議論もなしに、大多数の国民の知らないところで、いつの間にか成立している。私はそこに、神を忘れた国を見た思いがしました。各自の性的志向は、それぞれが自分と神との関係において考察し、自分が決すべき事柄に属すると私は思うのですが、神を忘

れ、人間の霊的本性に対する理解なしに「性」を取り扱うと、人はこの肉体の強烈な影響力に屈してしまい、性は容易に冒濫されていきます。人を神に向かわしめるエネルギーである性が、人を墮落に導く方向に誘導されている。そして、性だけではない。政治も経済も思想も社会制度も「神を忘れた」あらゆる事象が、日本社会を壊滅に向けて行進させているかのようです。この日本社会を崩壊の危機から救う道があるとすれば、それは日本社会が霊的に覚醒すること——すなわち、日本人の大半が、「人間の本来は永遠不滅の高貴な霊であり、人は神によって存在を得ている」という意識を回復すること——この道より他にないと確信しています。エドガー・ケイシーは第二次世界大戦の始まる直前の1939年6月に、次のようなリーディングを与えました。(問) ファシズムのムーブメントはこの国にとって危険ですか？(答) 人類を兄弟とし、神を父とする考え方の他は、如何なるムーブメントも危険である！(問) わが国の民主主義を守るために、それらにどのように立ち向かえば良いでしょうか？(答) 人類を同胞とする思想、神を父とする思想の上に、民主主義であれ、いかなる名前も置いてはならない！(3976-24)

神を忘れた日本は、危険思想にどっぷり浸かっています。そして、その結果をいまわれわれは目撃しつつあるところです。このまま放っておいたら結末は明らかです。この時代の日本に生を享けたわれわれが、日本の衰退を指をくわえて眺めて良いわけがない。否、何事か積極的になすべき役割があるはずだ。リーディングはわれわれの時代を指してこのように語りました。この時代が成就したなら、新しい紀元、新しい時代が始まる。あなた方は新しい時代の一員として参加しているだろうか。それとも空しく時を過ごし、前時代の遺物として居残るのだろうか。それともあなたの兄である主、あなたの救世主にすら頼られる者となるのだろうか。(2780-3)



リーディング エドガー・ケイシーが遺した人類の道筋。

成人病からアンチエイジングまで完全網羅！
ホリスティック医学の生みの親
エドガー・ケイシー療法
のすべて
All About
Edgar Cayce Remedies
光田 秀
森井啓二

神理の扉
光田 秀
森井啓二
聖なる変容と
霊性進化の道

Edgar Cayce
眠れる予言者
エドガー・ケイシー
光田 秀
森井啓二

ケイシー療法 ひまし油・アップルブランデー

たえ、われわれ一人一人のできることはささやかなことかも知れませんが、そこに《あの方》の驚くべき祝福が注がれるならば、われわれの時に種から豊かな霊的実りを望み得る。私はこのリーディングを心の支えにして、今日も霊の種を蒔く。(621-109)

「宇宙の叡智を 地球と人類の目醒めのために～地球と人類の調和と霊性進化を開く」
シリーズ7 世界の平和、個人の平和の実現において-日本民族の役割-意識の変容と宇宙意識への深化
真の幸福、真の平和の実現は自分の内側の世界を磨き
人生の真の目的を知り、自分の心の内側と
自分の心の外側との調和こそ世界、個人の真の平和をもたらす。
国連世界平和人権大使 奥健一郎氏をお迎えし
シンポジウムディスカッション徹底討論
お問合せ 026-239-2630

遥かなる宇宙の響き
世界の喜多郎
スペシャルコンサート

奥健一郎氏 国連世界平和人権大使 欧州連合国際外交団 鹿児島大学稲盛アカデミー教授、大阪府教育委員 日本国際協会会員
中村天風、松下幸之助、稲盛和夫の人間観から学ぶ1本の道筋
五島秀一先生 物理学者 宇宙哲学研究者 発明家 気の舞倉始者 超越気功師範
喜多郎氏 世界のキーボーディスト・シンセサイザー奏者、作曲家
はせくらみゆき氏 画家・作家・雅楽歌人 あけのうた雅楽振興会代表
量子モノダ理論・古代史・神話学・言霊学
町田宗鳳氏 広島大学名誉教授、天台宗大阿闍梨「ありがとう寺」住職
塩澤みどり (公財)いのちの森文化財団 副代表 宇宙の叡智シリーズ主催